

鐘楼

講堂の東に位置する鐘楼は、寺の僧侶に法会などを行う合図として鳴らされる。最初の鐘楼は大講堂の火災によって 925 年に焼失した。平安時代に再建された鐘楼に、白鳳時代（7 世紀後半）に鑄造された青銅製の梵鐘が吊されている。法隆寺の僧侶は今でも大きな法要の時にこの鐘を鳴らしている。